

梨の花



市川市立稻荷木小学校

〒272-0024 市川市稻荷木1-14-1 TEL 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

友達の靴を履いてみよう

校長 清田 博之

今、世界はコロナウイルスという「見えない敵」との戦いの2年目に入っています。ワクチンの普及などで、「光」も見え始めていますが感染者数のリバウンド傾向といった報道もあり、まだ収束に向けて一人ひとりが協力体制をとる必要があります。例年の7月ならば、夏休みの旅行の計画など楽しいプランに向け準備をするところですが、昨年に引き続き今年も「不要不急の外出を控える」等の制約のもと、「今できる範囲で楽しむ夏休み」ということになりそうです。

このコロナ禍は、社会に急激な変化をもたらしました。ICT化の波、情報の処理スピード、様々なレスポンス等。しかし、今立ち止まってゆっくり物事を考える機会と捉えることはできないでしょうか。また、人とのつながりの大切さを考えることはできないでしょうか。

『見えぬけれどもあるんだよ。見えぬものもあるんだよ。』

この言葉は、以前「梨の花」でも紹介をした童謡詩人 金子みすゞさんの「星とたんぽぼ」の詩の一節です。見えないけれどもあるもの…って？ 「心」ですね。子供達には、相手の心を自分の心の目で見られるように、相手のことを思う想像力を持ってほしいと思います。

見えないものの中には大切なことがたくさん隠されています。イギリスのことわざに「他人の靴を履いてみる」という言葉があります。直訳すると、友達の靴を履いてみたらどんな感じがするだろう、どんな気持ちになるだろう、友達の背景がわかるかもしれないということ、つまり相手のことを知る、相手の気持ちを想像する力、エンパシーを大切にすることです。

私たちは人とのつながりの中で

生きています。相手のことを想像したり、折り合いをつけたりすることが大切な世の中になっています。

子供達には、今度の夏休みは、自分の心を耕す日々にしてほしいと思います。心の窓を思いっきり開いて、いろんな人と話をしたり、いろいろなことを経験したり、いつもオープンな心でいてほしいと思います。

例えば、いつも相手が喜ぶことをしようと心に決めると自然に相手が喜ぶ言葉が口からあふれだし、優しい行動ができるようになります。

人から喜ばれることで自分も幸せな気持ちになれるなんてできなことです。夏休みは、こんな心の勉強をする機会にもしてほしいと思います。感情に訴えて来るものに遭遇した時の感情や人と感動を共有した時の気持ち…

子どもたちの夏が、こういったエモーショナルな感覚を育てる夏になることを願います。

青いお空の底ふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまで沈んでる、
星のお星は眼に見えぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、

散つてすぐれたたんぽぼの、
瓦のすきに、だアまつて、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根は眼に見えぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、
見えぬものもあるんだよ、

星とたんぽぼ



前期保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。

皆様からいただいた貴重なご意見を学校運営に反映させてまいります。後日、詳しい結果については文書でお知らせをします。アンケートを受けて、現在、考えていることは以下の通りです。

○「優しい子」について

- ・「挨拶」については、「稻荷木小の子どもたちはよく挨拶する子が多い」という印象をもつ職員が多いようです。今後は、「来校したお客様にもきちんと」「自分から…」という面をさらに伸ばしたいと考えています。

○「かしこい子」について

- ・「楽しく、わかりやすく、参加しやすい授業」に向けて研鑽を積んでまいります。
- ・自主学習への奨励もさらに進め、「自分から進んで調べてみる」など「自主的な学習態度」を伸ばしていきます。
- ・「読書」についての評価がよくありませんでした。学校では、よく読書をしている児童が目立つのですが、家庭でも読書をする習慣をつけられるよう取り組んでまいります。

○「たくましい子」について

- ・目の健康、睡眠時間、読書習慣とも関わりがありますが、アウトメディアについて、取り組んでいく必要性を感じました。

○「信頼される学校」について

- ・「一人ひとりへの適切な支援」「いじめ対応」の2つは最重要課題と考えています。この2つについては、今後95%以上の肯定的な評価をいただけるよう、より丁寧に取り組んでいきます。

6月末の学校の様子から

6年キャリア教育



1年 絵の具教室



6月28日

6年生のキャリア教育第3弾として音楽家「多田慎也」さんのお話をZOOMで伺いました。嵐、AKBの曲も作曲している非常に高名な方です。

音楽家として軌道に乗るまで、悩み、試行錯誤の日々だった経験をお話いただきました。

6月29日・30日

京葉文具の方をお招きして、1年生の「絵の具教室」を行いました。パレットや水入れの使い方、色の塗り方などを学習しました。

教えていただいた事を生かして、信号（赤・黄・青）を塗りました。初めての経験でしたが、とても上手に絵の具を使うことができました。